

先生用（活用例と模範解答）



授業での利用方法 — 動画とワークシートの使い方（先生向け）

このワークシートは小学校5年生以上を対象に、外務省の動画「おしえて！☆ラビット」シリーズと組み合わせてご利用いただける教材です。

動画を見ながら情報を整理し（Q1・Q2）、見たあとに自分の考えをまとめ（Q3）、グループワークや発表を通して深い学びにつなげます。全体の所要時間の目安は45分（1コマ）です。以下はご活用方法の一例です。

1 準備（2分）

●ワークシートの配布

授業の最初にワークシートを配布してください。

「今日は動画を見て、このシートを埋めてみよう」と伝えましょう。

★ 事前に動画のテーマ（例：外務省の仕事／大洋州とは／国際保健）を板書しておくとう効果的です。

2 導入（3分）

●動画の見るポイントを説明

ワークシートの「見るポイント」を声に出して読み上げてください。

「この3つのことに注目しながら見てみよう！」と問いかけましょう。

★ 難しい単語（例：FOIP・ODA・UHC（下記URL参照））は事前に簡単に説明しておくとう安心です。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/q_a/imi.html

3 視聴（10分～15分）

●動画をみる

動画を再生します。

生徒はワークシートを手元に置きながら、Q1・Q2の答えをメモしながら見ます。

★ Q1・Q2は「見ながら答えるもの」です。見ながら書けなかった生徒のために、動画視聴後に短い確認時間を取ってもよいでしょう。

4 個人ワーク（5分～8分）

●（個人ワーク）ワークシートを自分で埋める

Q3（「動画を見たあとで考えよう」）を中心に、自分の考えを言葉でまとめてもらいます。

★ 「正解はありません。自分なりの言葉で書いてみよう」と声をかけると、書きやすくなります。

5 グループワーク（5分～8分）

●（グループワーク）グループに分かれて話し合う

4～5人のグループに分かれ、Q3の答えを共有します。

「なぜそう思ったか」も含めて話し合うよう促してください。

★ 「他の人の考えを聞いて、自分のシートに追加・メモしてもOK」と伝えると、対話が深まります。

6 発表（5分～8分）

●各グループで発表する

各グループの代表者が、Q3について班の意見を発表します。

他のグループは発表を聞き、気になったことをメモします。

★ 発表前に「どんな発表が聞きたいか」を問いかけると、聞く姿勢が高まります。

7 まとめ（3分～5分）

●先生がコメント・まとめ

模範解答例を参考に、Q1・Q2の答えを確認します。

Q3は各グループの多様な考えを肯定的に評価し、今日の学びを振り返ります。

★ 「正解のない問題をじっくり考えたこと」自体をほめて授業を締めくくります。

授業合計の目安：約35～45分（1コマ）

※ 動画の長さ（1テーマ5～8分）、生徒の人数やグループの数に応じて適宜調整してください。

先生用（活用例と模範解答）

模範解答・各設問の解説（先生用）

ワークシート① 外務省の仕事

Q1【正解（キーワード例）】：

- ①日本と世界の平和のための取組（平和・PKO・OSA・国際連合・ルール作り）
- ②地球社会のための取組とODA（ODA・SDGs・環境・支援）
- ③日本経済の成長と豊かな地域・世界に向けた取組（経済・輸出入・資源・豊かで安全）
- ④日本をもっと知ってもらうための取組（文化・スポーツ交流・日本語）
- ⑤海外に行く日本人のための取組（海外旅行・安全情報・大使館のサポート）

Q2【記入例】：

- ・国連やG7サミットなどの国際会議に参加して、日本と世界の平和のために取り組んでいる。
- ・政府安全保障能力強化支援（OSA）を通してインド太平洋地域の国々の平和を守る力を強めるための協力をしている。
- ・政府開発援助（ODA）を通して開発途上の国々を助けている。
- ・安定した輸出入のために国際的な経済のルールをつくったり、海外で活動する日本企業を支援している。
- ・日本を知ってもらうために日本の文化などの魅力を紹介したり、日本語を学びたい海外の人のサポートをしている。
- ・海外の安全情報を発信し、海外にいる日本人の生活や活動をサポートしている。

Q3【模範解答例】：

外交とは、日本が世界のいろんな国と仲良くできるよう、国同士のつきあいをする仕事です。
なぜなら、戦争にならないためにも、世界の人々が安全に暮らせるようにするためにも、
国同士が協力することがとても大切だからです。

ワークシート② 大洋州とは

Q1【正解】：

すべて正しい。

Q2【正解】：

安全保障、気候変動、海面の上昇、温暖化

Q3【正解】：

3年に1度

Q4【模範解答例】：

日本と大洋州は歴史的に深いつながりがあり、長い間、共に歩んできました。
安全保障や気候変動など共通の課題を一緒に解決するために、協力し続けることは双方にとって大切なことだと思います。

ワークシート③ 国際保健

Q1【正解】：

約46億人（世界の人口の約半分）

Q2 UHC表（記入例）：

UHCとは？→ すべての人が必要な医療を、必要なときに受けられること。

国民皆保険とは？→ 国民みんなでお互いの医療費を支え合う制度。

日本の役割→UHCの考え方を世界で進めるリーダー。ODAを通じた支援も行う。

Q3【模範解答例：母子健康手帳】：

母子健康手帳が印象に残りました。

日本では当たり前の手帳を、世界で広めて、赤ちゃんとお母さんの命を守るというのがすごいと思います。